

マンホールの管きょ径別最大間隔

現場条件等を考慮し下表によりがたい場合は、別途下水道管理者と協議すること。

管きょ径(mm)	600以下	1,000以下	1,500以下	1,650以上
最大間隔(m)	※75	100	150	200

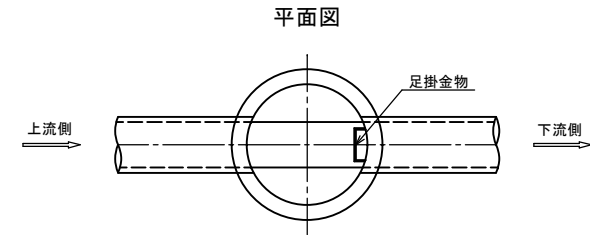
※ 小口径管(φ600mm以下)については、最大間隔80mまで可能。

マンホールの接続管径及び形状別用途

呼び方	形状寸法	接続管径(単位mm)		用途
		中間点	会合点	
円形0号	内径75cm 円形	400	250	小規模な排水又は起点 他の埋設物の制約等から1号マンホールが 設置できない場合
円形1号	内径90cm 円形	500	400	管の起点及び内径500mm以下の管の中間点 並びに内径400mmまでの管の会合点
円形2号	内径120cm 円形	800	500	内径800mm以下の管の中間点及び 内径500mm以下の管の会合点
円形3号	内径150cm 円形	1100	700	内径1,100mm以下の管の中間点及び 内径700mm以下の管の会合点
円形4号	内径180cm 円形	1200	800	内径1,200mm以下の管の中間点及び 内径800mm以下の管の会合点
円形5号	内径220cm 円形	1500	1100	内径1,500mm以下の管の中間点及び 内径1,100mm以下の管の会合点

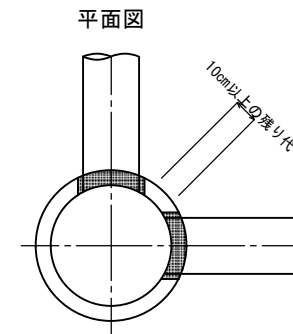
足掛金物の位置

※ 下流側が小口径管(φ600mm以下)の場合、
足掛金物は原則下流側へ設置。

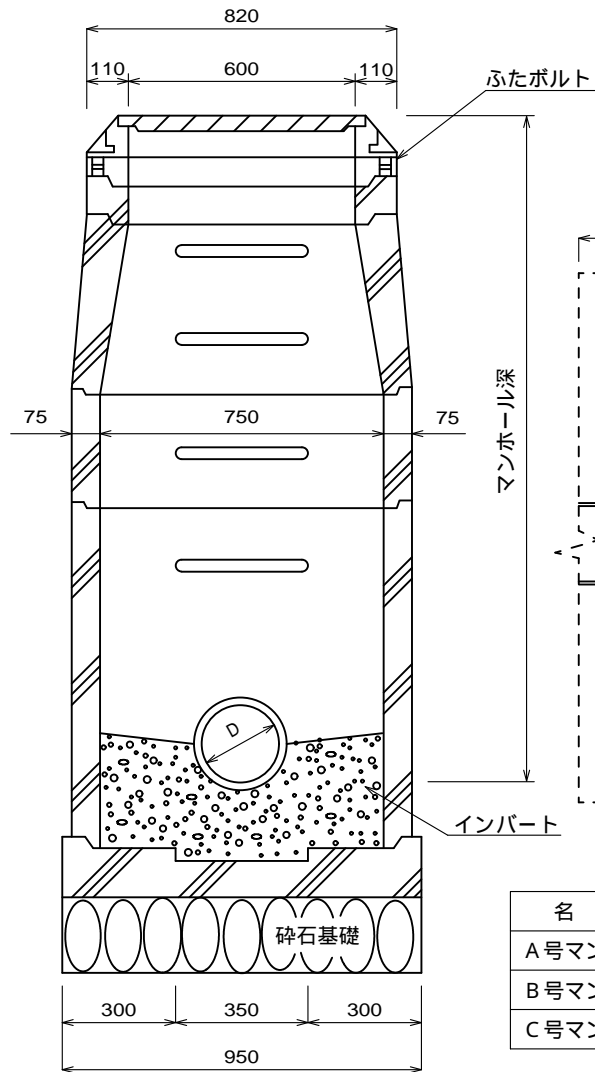


削孔間隔

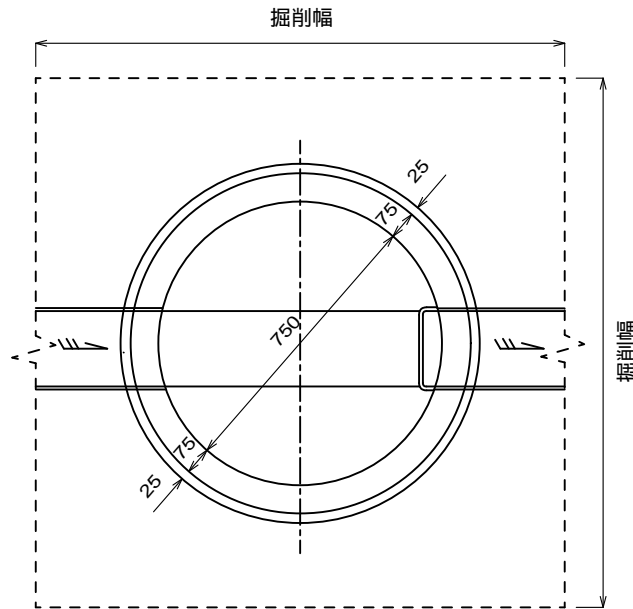
※ 削孔間隔は10cm以上の残り代を確保すること。
10cm以下になる場合は別途防護コンクリートをする。



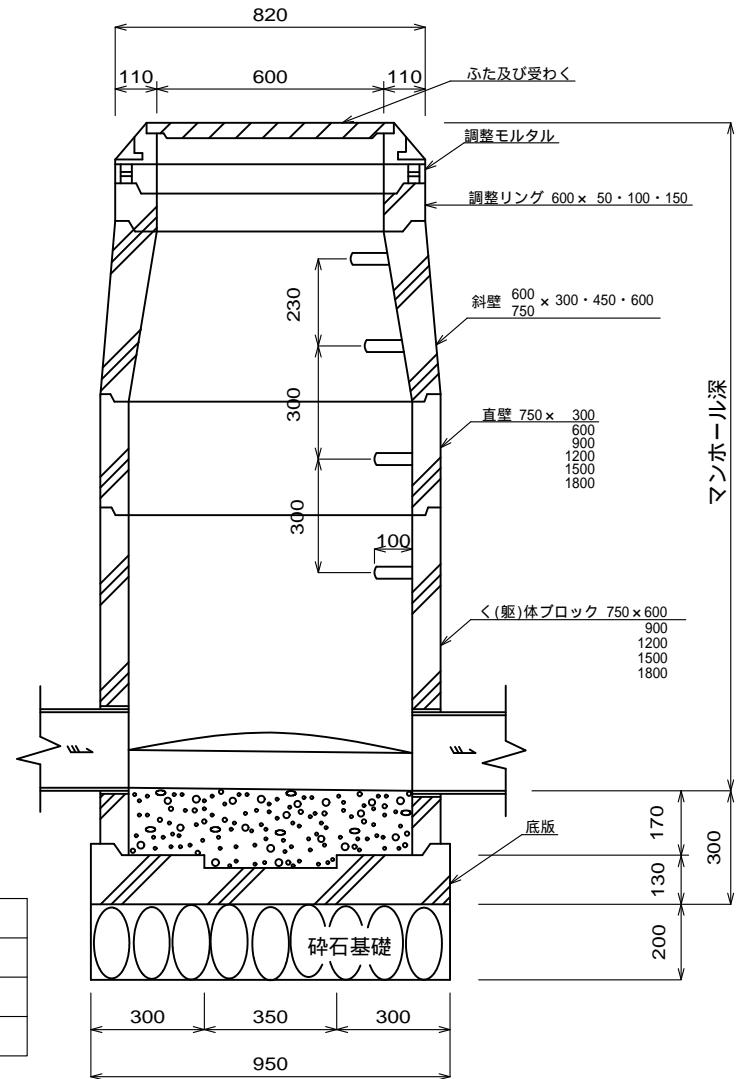
横断面図



平面図



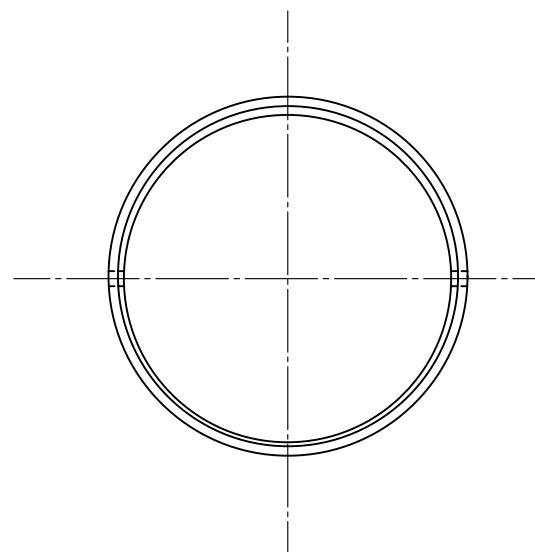
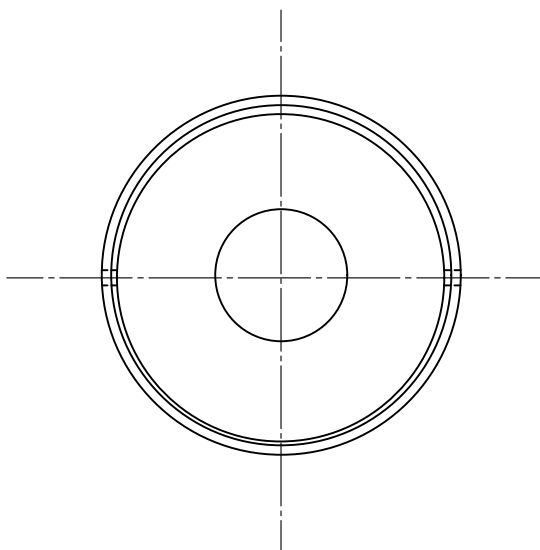
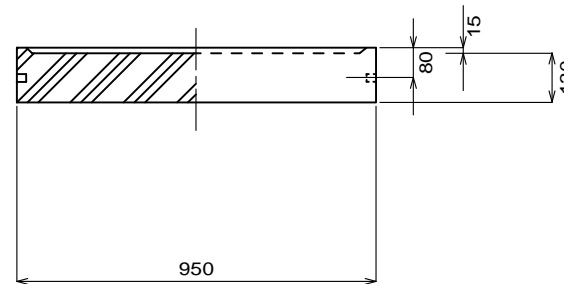
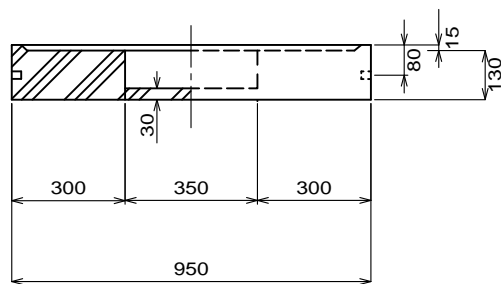
縦断面図



名称	種別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

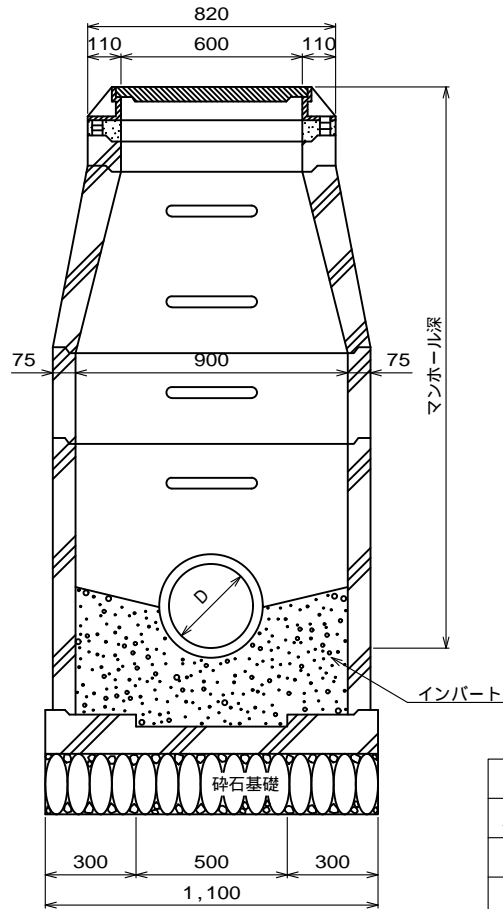
備考

- ・ J S W A S A - 1 1
- ・ 基礎に関しては、支持地盤が明らかに適用不能と判断される場合は、基礎種別・厚さ等について別途検討するものとする。
- ・ マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

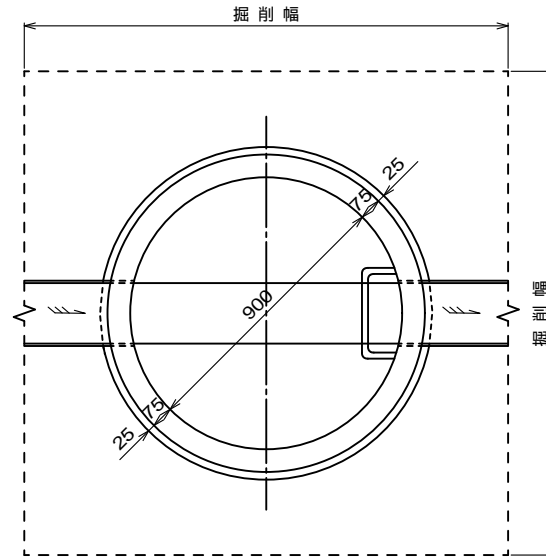


・ J S W A S A - 1 1

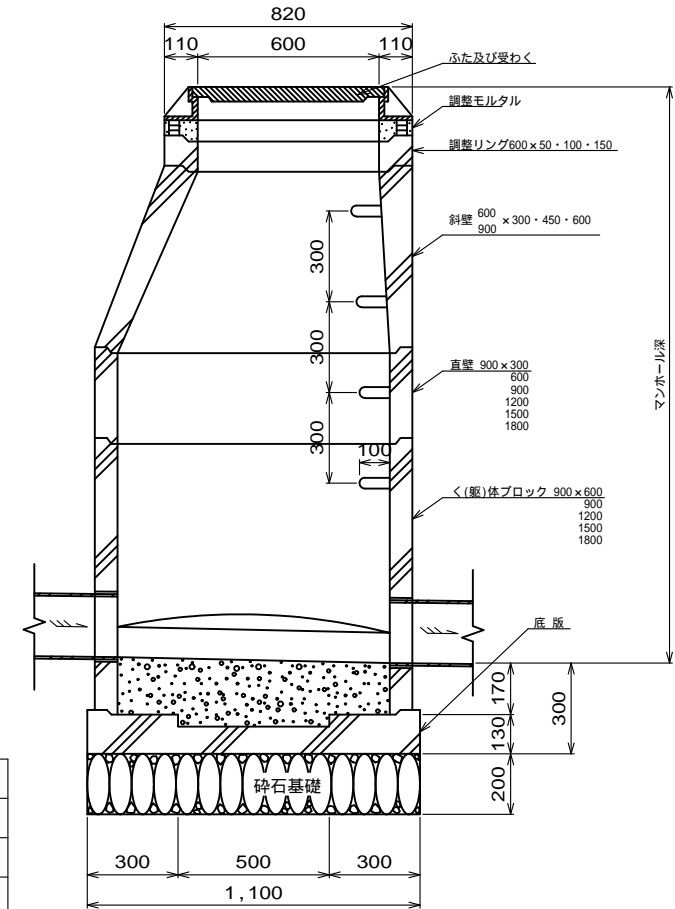
横断面図



平面図

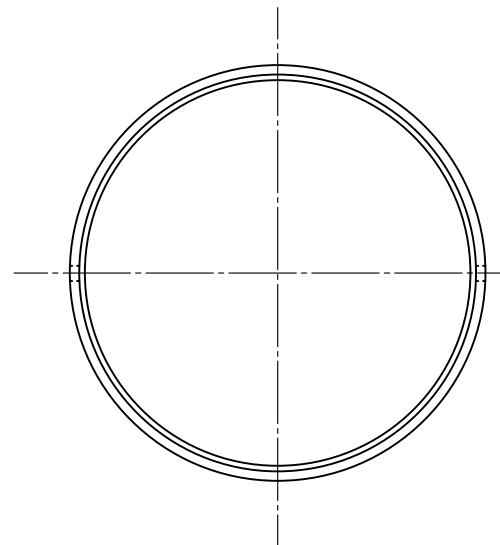
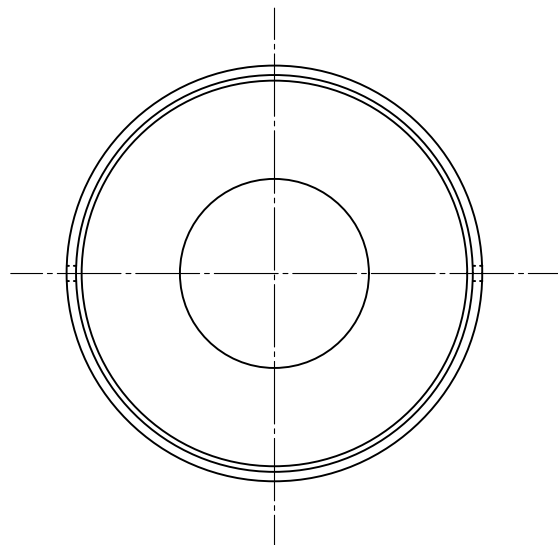
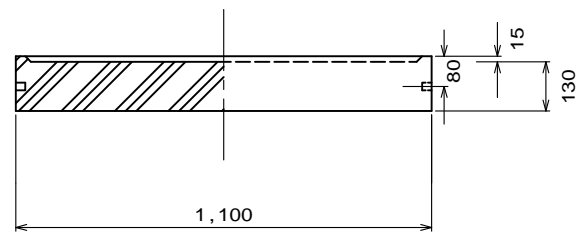
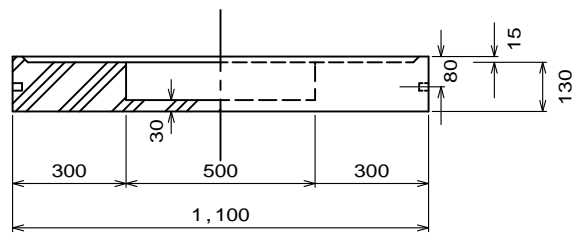


縦断面図

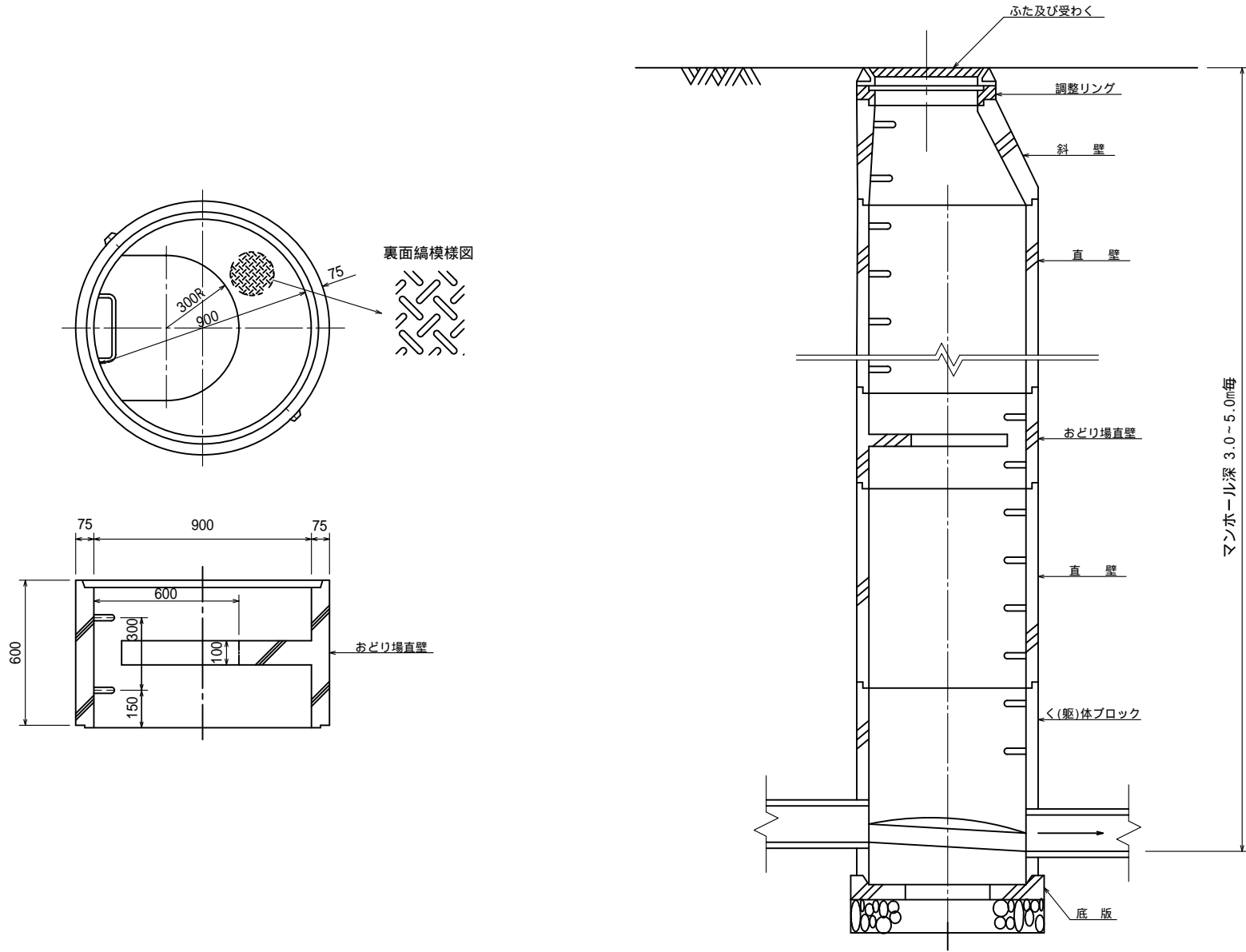


名称	種別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

・JSWAS A-11
 ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。



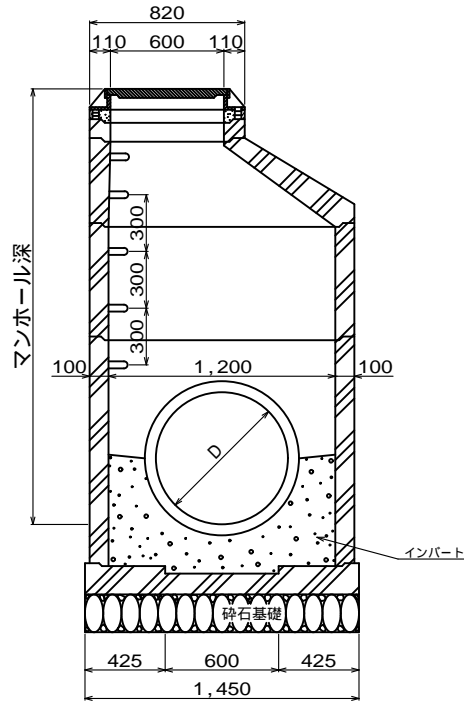
・ J S W A S A - 1 1



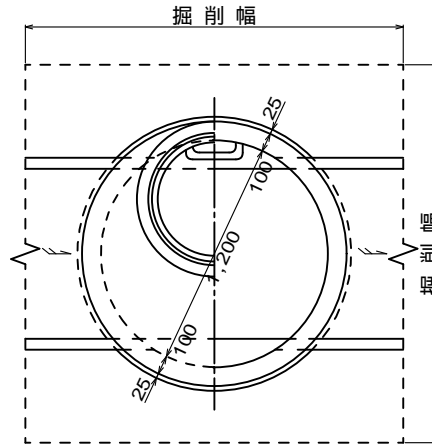
備考

- ・ 5 mを超えるマンホールの場合 3 ~ 5 m毎に中間スラブを設ける。
- ・ JSWAS A - 11

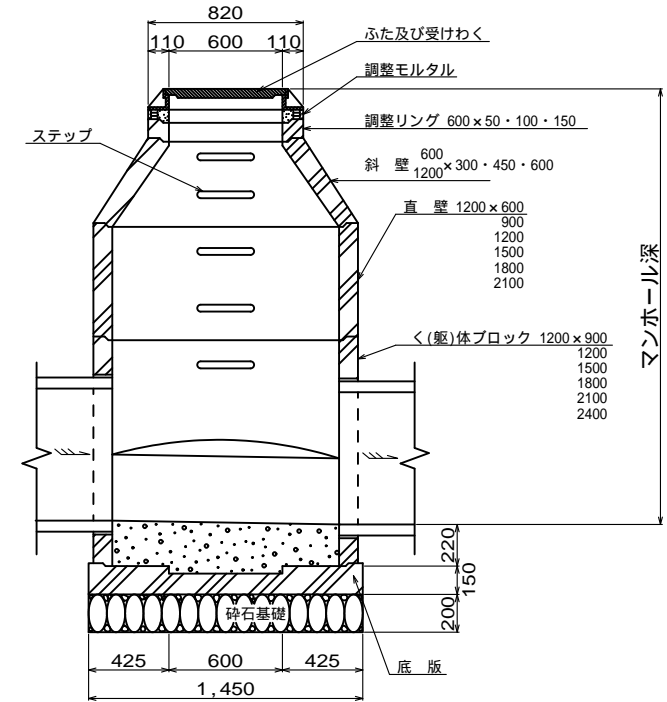
横断面図



平面図



縦断面図

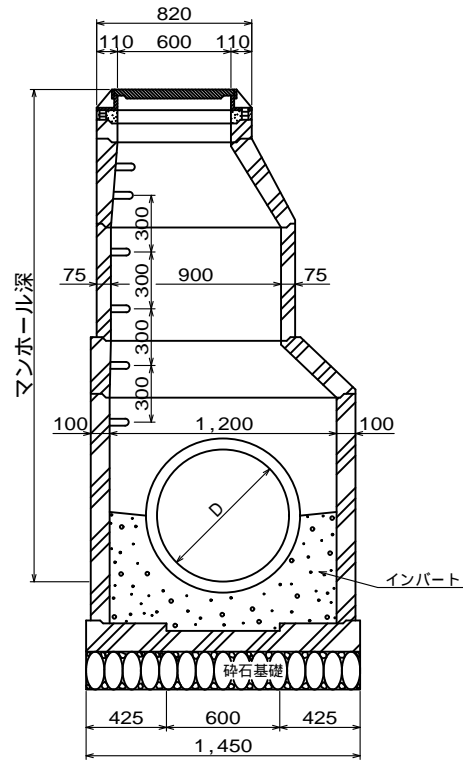


名称	種別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り50cm	100cm ~ 200cm

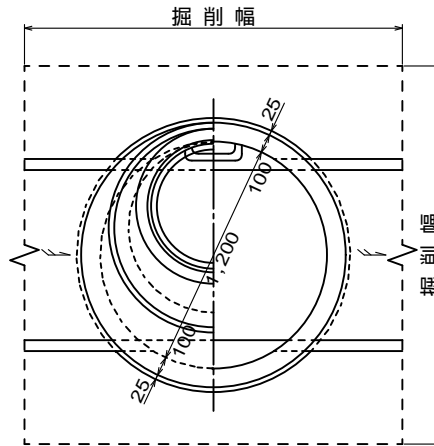
備考

- ・流出管径600mm以下の場合の足掛金物の位置は、流出管上にくるものとする。
- ・J S W A S A - 1 1
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

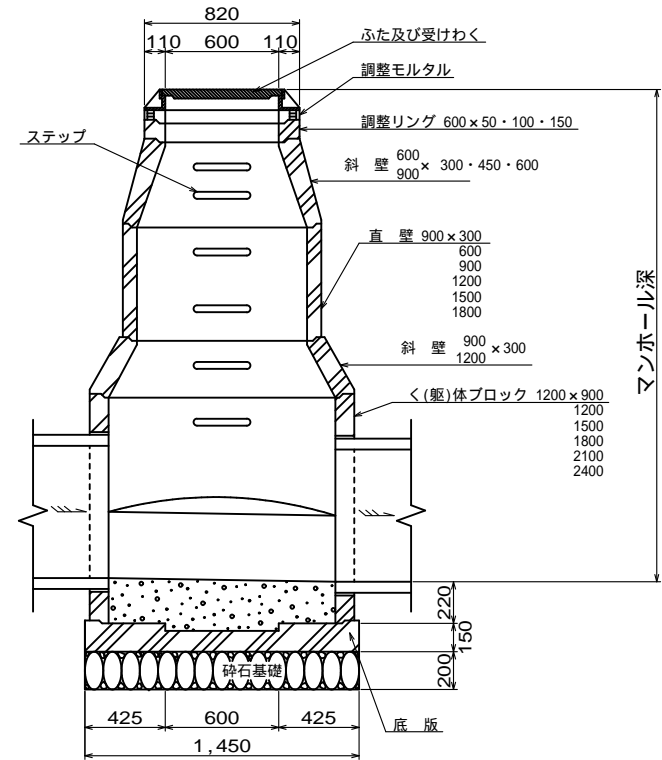
横断面図



平面図



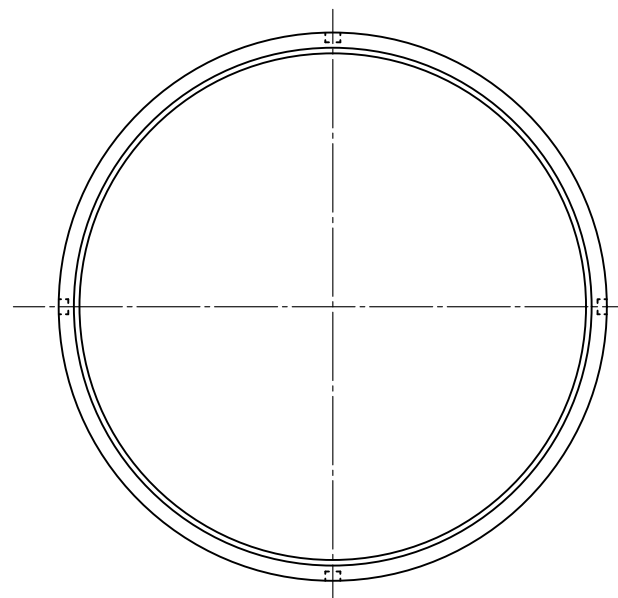
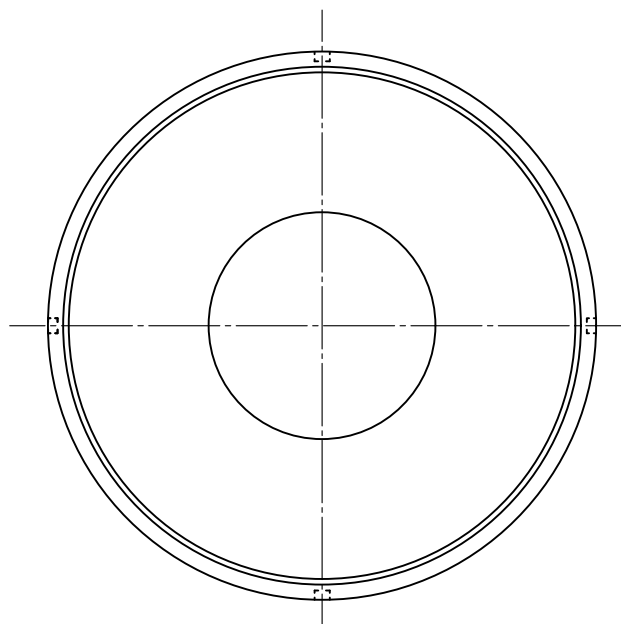
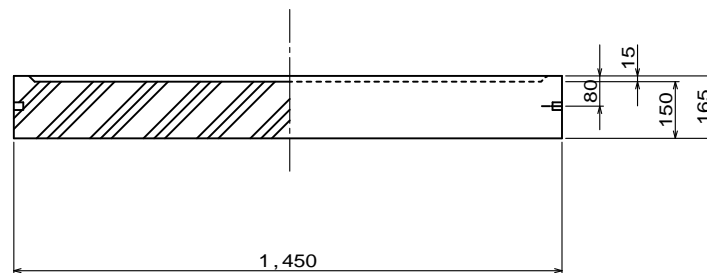
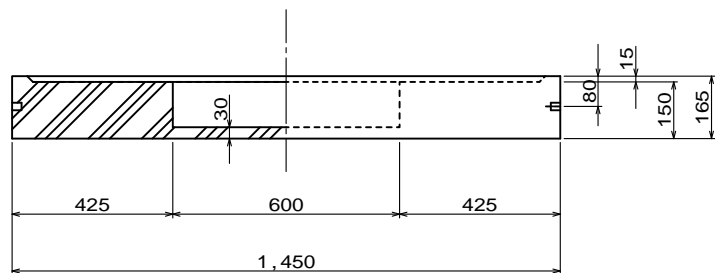
縦断面図



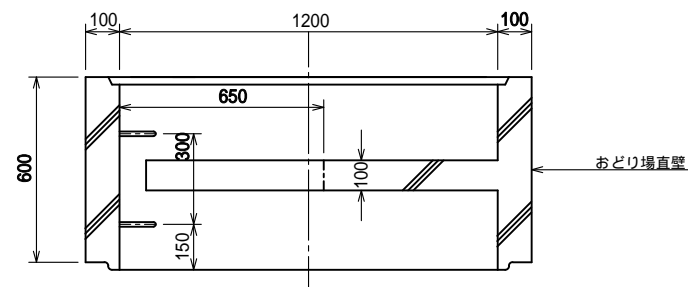
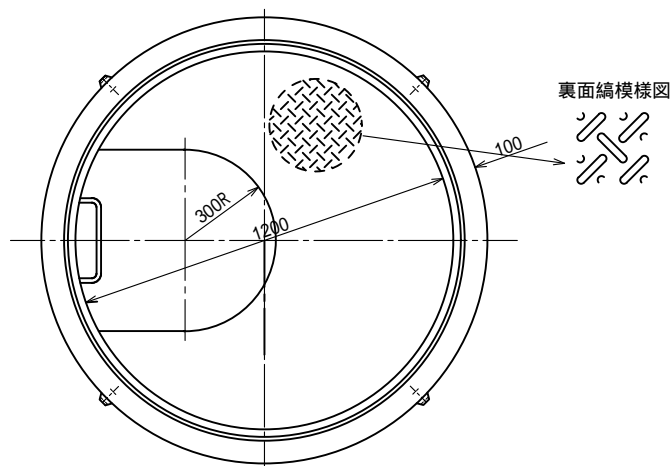
名称	種別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り50cm	100cm ~ 200cm

備考

- ・流出管径600mm以下の場合の足掛金物の位置は、流出管上にくるものとする。
- ・JSWAS A-11
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

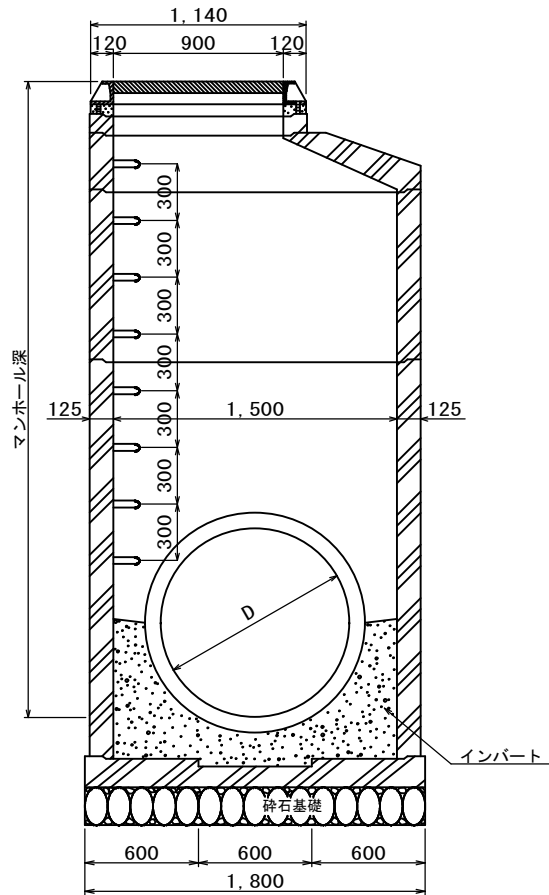


・ J S W A S A - 1 1

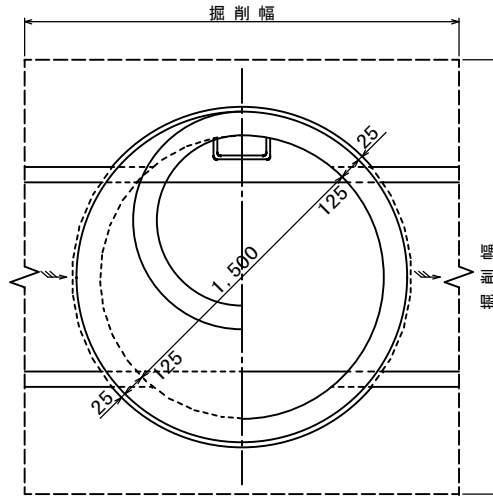


- ・ 5 mを超えるマンホールの場合3~5m毎に中間スラブを設ける。
- ・ JSWAS A-11

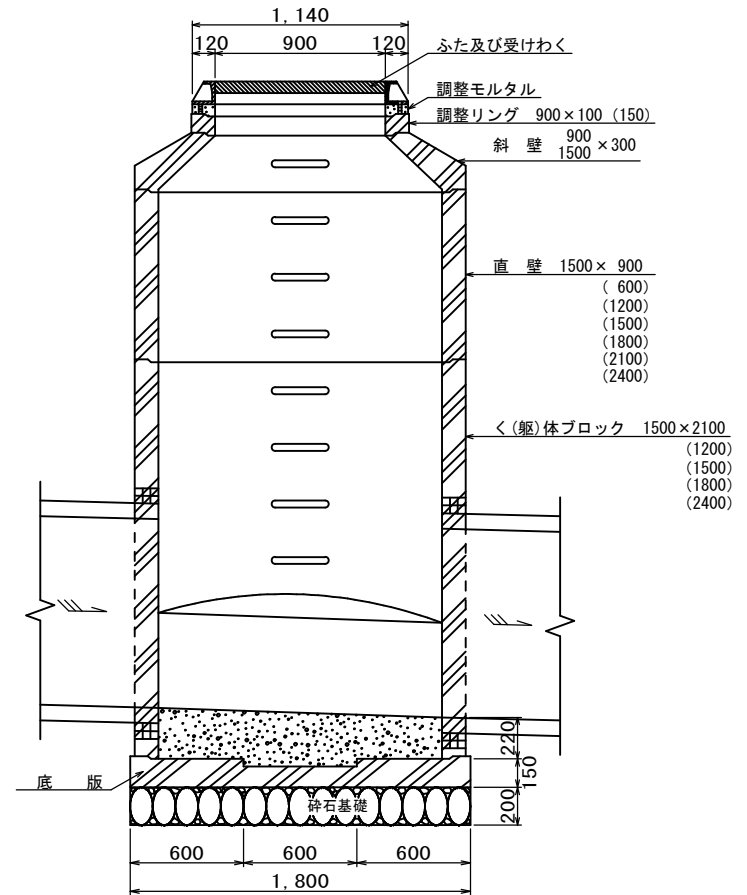
横断面図



平面図



縦断面図

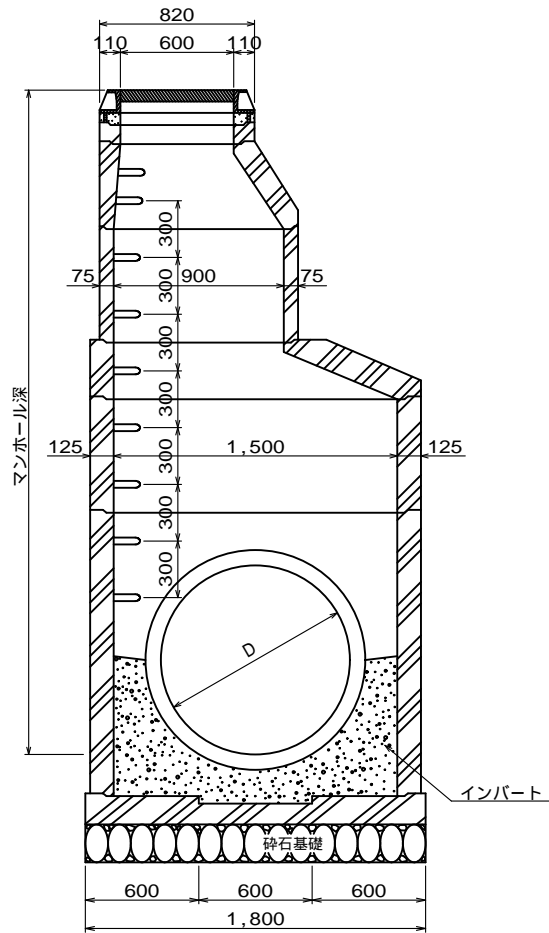


名称	種別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インバート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

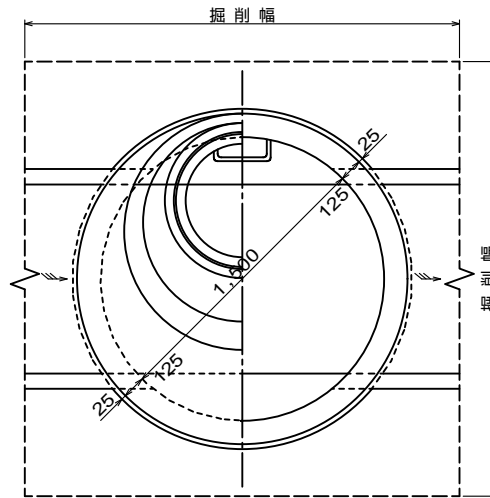
備考

- ・流出管径600mm以下の場合の足掛金物の位置は、流出管上にくるものとする。
- ・JWSAS A-11
- ・親子蓋とする場合は下水道管理者と別途協議する。
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

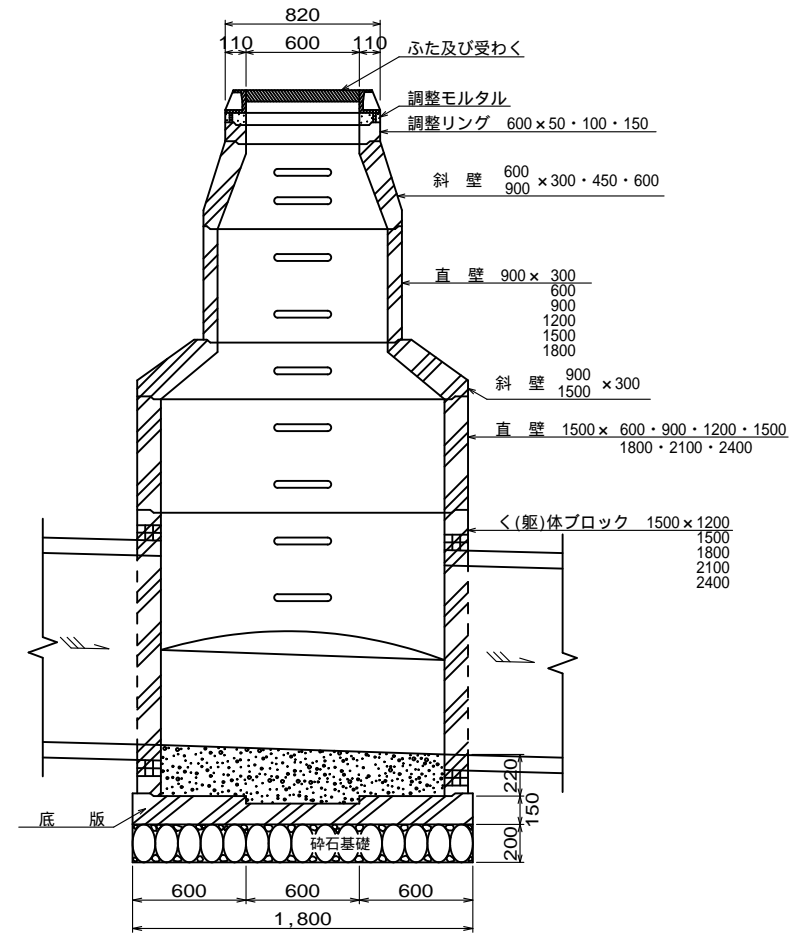
横断面図



平面図



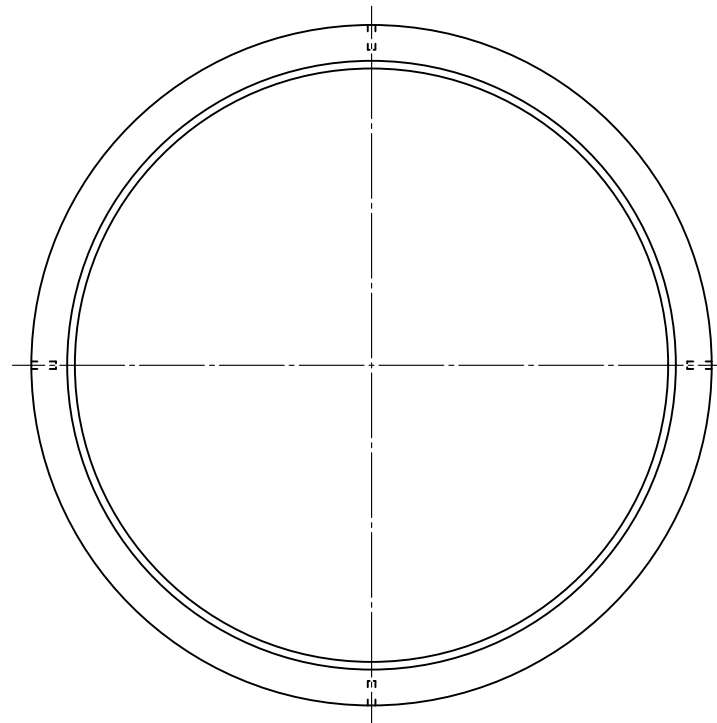
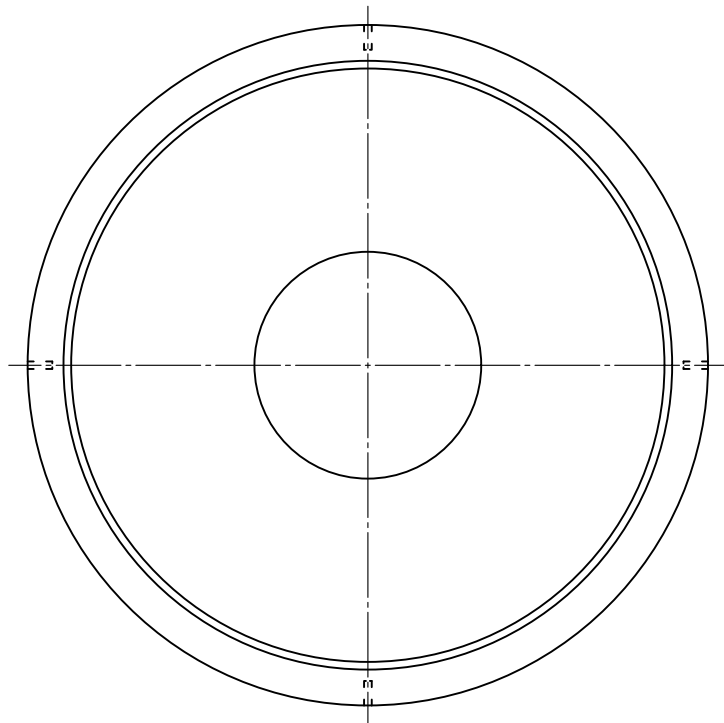
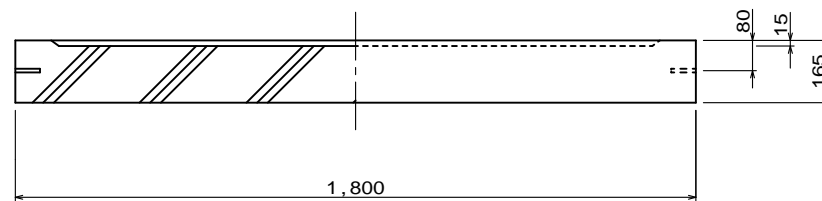
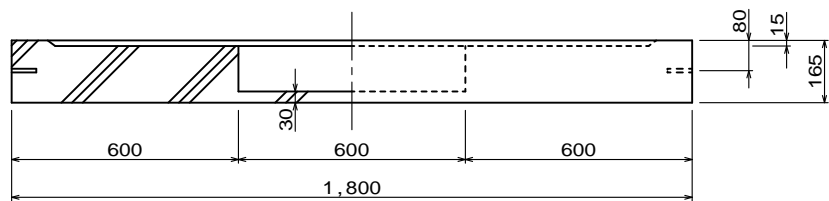
縦断面図



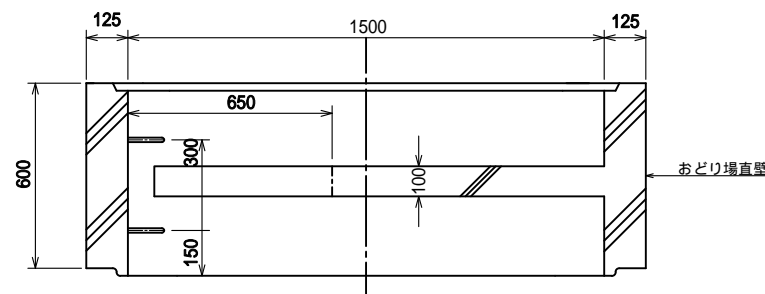
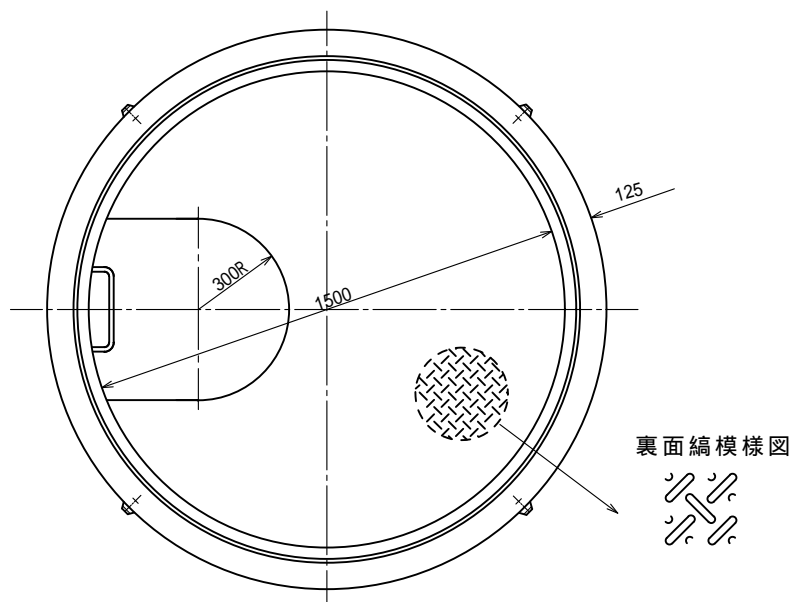
名称	種別	底部形状	上下流管底差
A号マンホール	合流・雨水	インパート	< 60cm
B号マンホール	雨水	砂溜り 20cm	60cm ~ 99cm
C号マンホール	雨水	砂溜り 50cm	100cm ~ 200cm

備考

- ・流出管径600mm以下の場合は、足掛金物の位置は、流出管上にくるものとする。
- ・JSWAS A-11
- ・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。



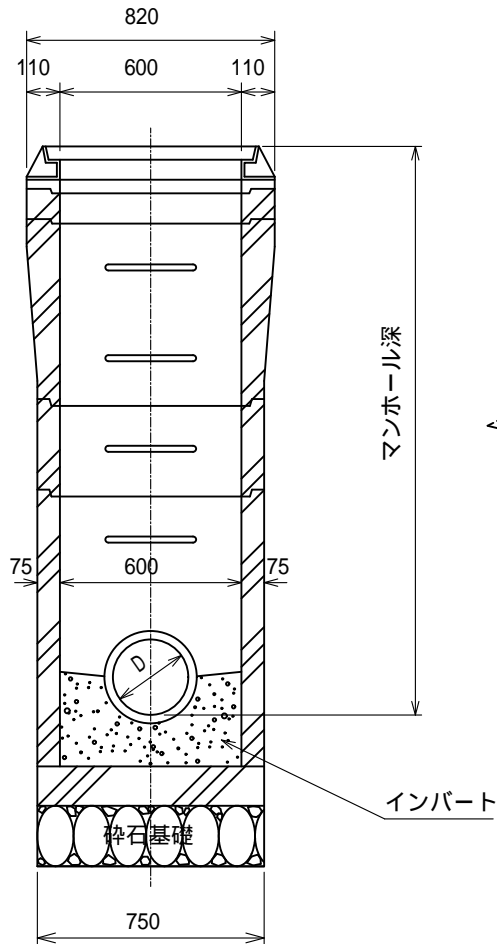
・JSWAS A-11



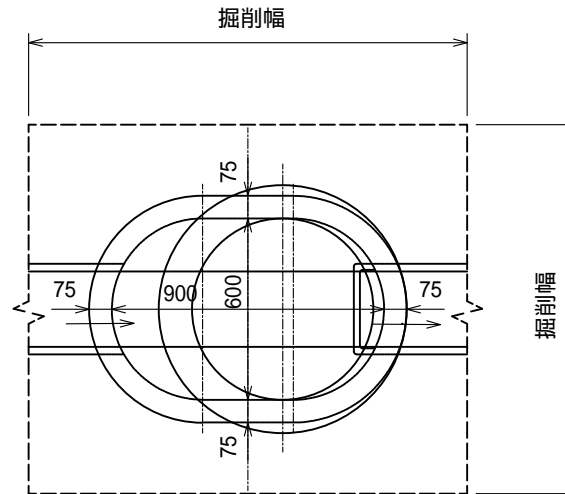
備考

- ・ 5 mを超えるマンホールの場合3~5m毎に中間スラブを設ける。
- ・ JSWAS A - 11

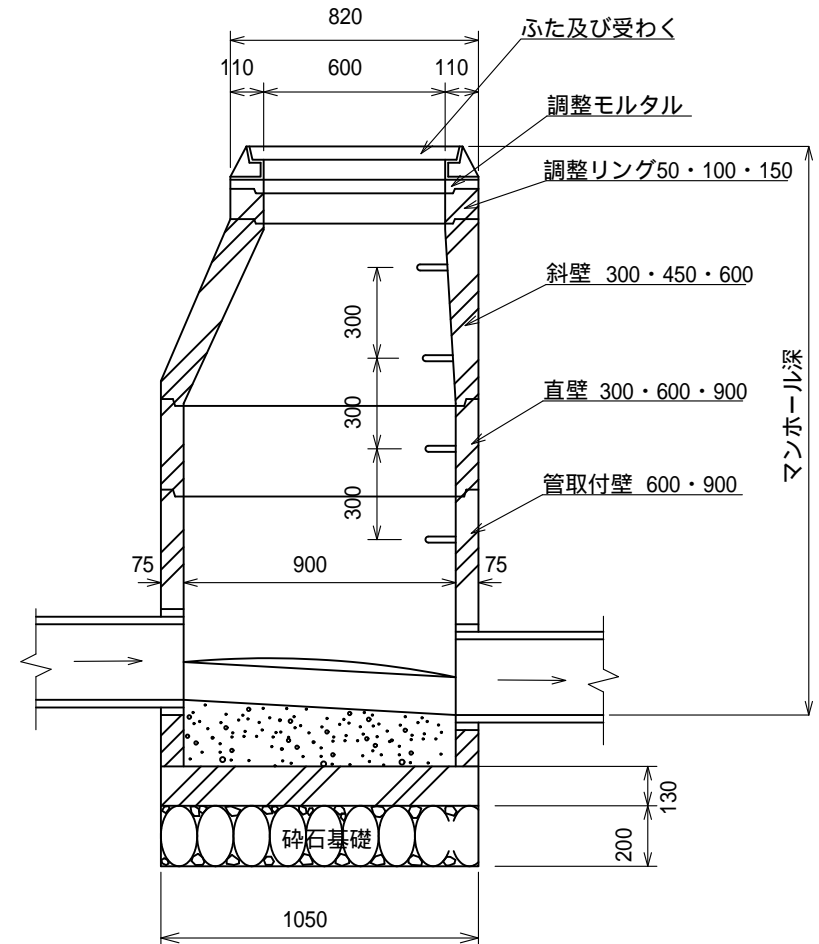
横断面図



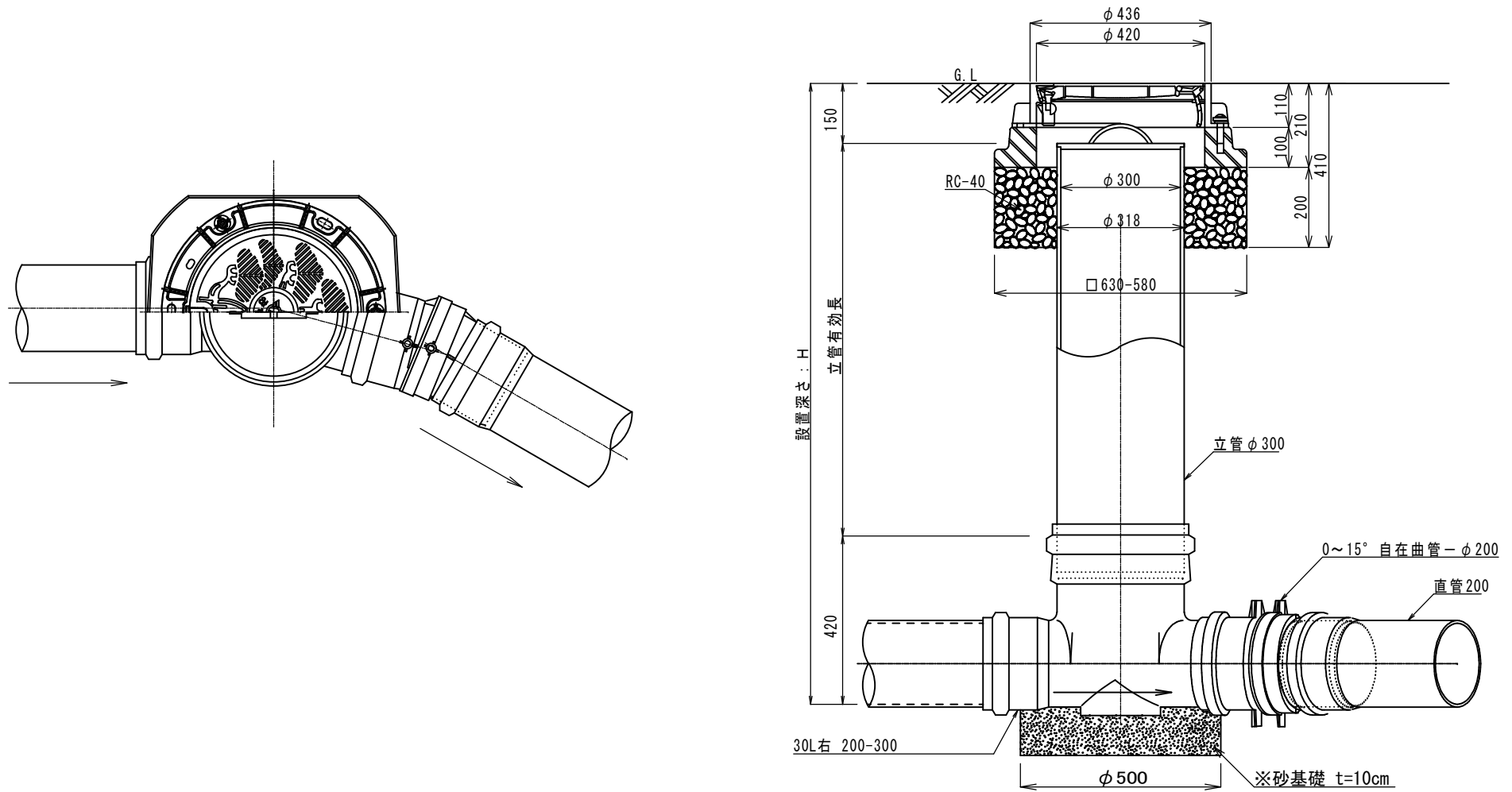
平面図



縦断面図

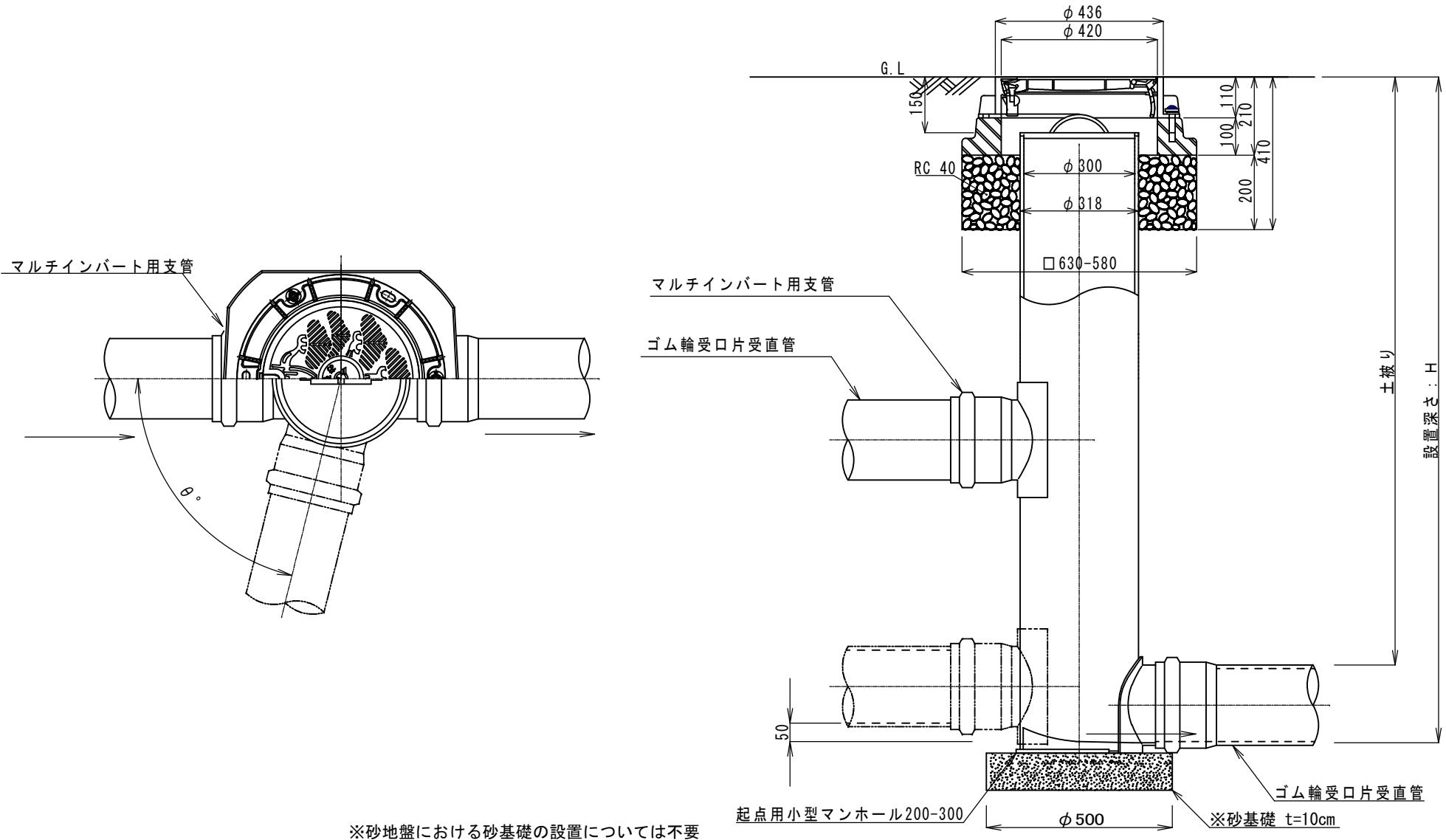


・マンホールと管きよの接続部にはマンホール用可とう性継手を設置すること。詳細は【8章】を参照すること。

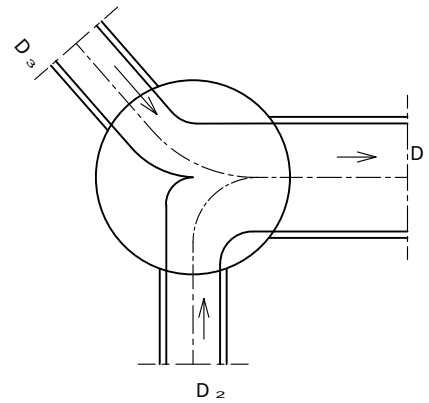
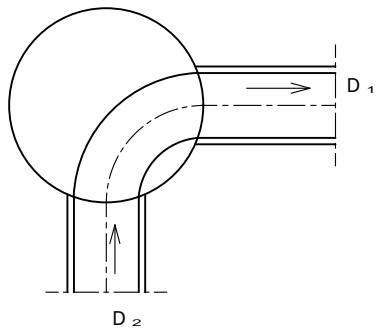
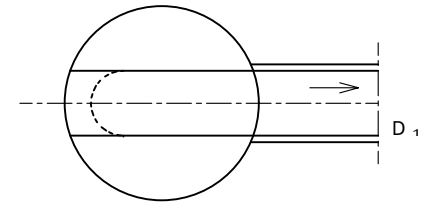
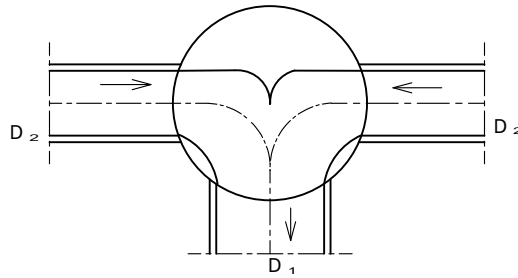
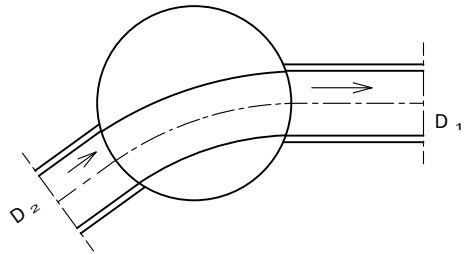
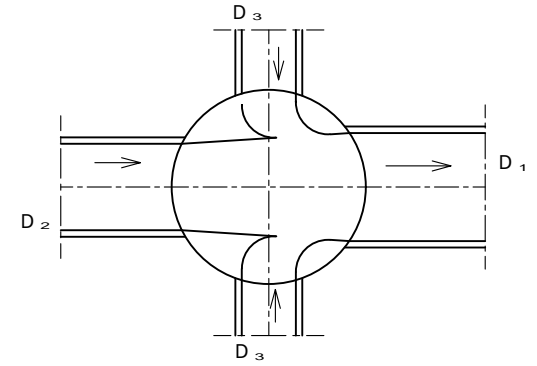
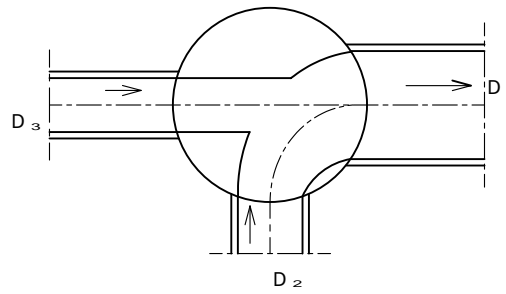
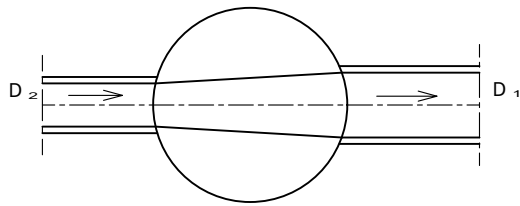


※砂地盤における砂基礎の設置については不要

- ・ JSWAS K-9
- ・ 小型マンホールを設置しようとする場合は、事前に下水道管理者と協議すること。
- ・ 鉄蓋碎石基礎設置面積 $A = 0.29 \text{ m}^2/1$ 箇所



- ・ JSWAS K-9
- ・ 小型マンホールを設置しようとする場合は、事前に下水道管理者と協議すること。
- ・ 鉄蓋碎石基礎設置面積 A = 0.29 m²/1箇所



【インバート高さ】

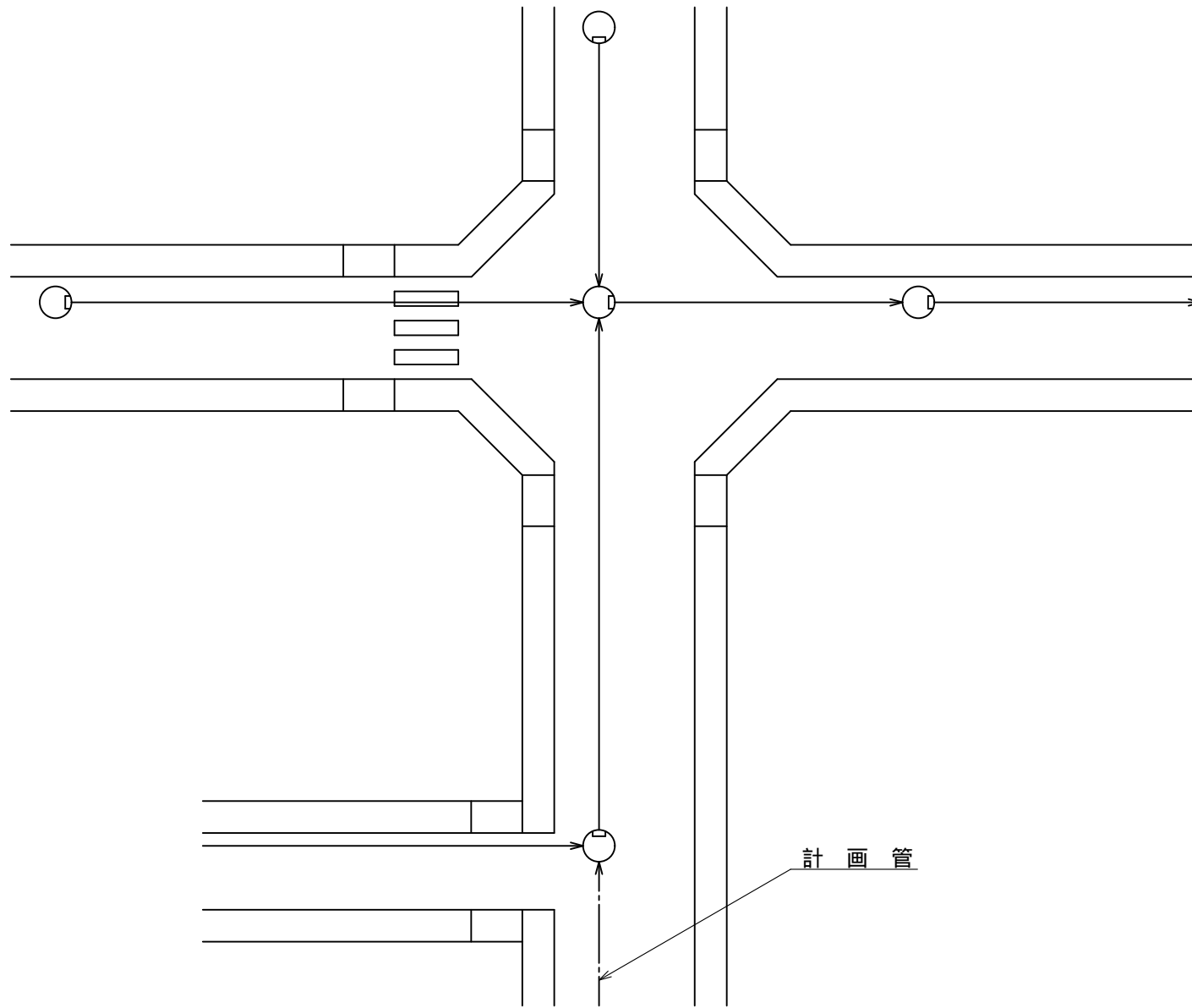
1. 合流管の場合

- ・ 600mmまで $h = \frac{D_1}{2}$
- ・ 700mm ~ 1200mm $h = \frac{D_1/2 + 30\text{cm}}{2}$
- ・ 1350mm以上 $h = 50\text{cm}$

2. 分流汚水管の場合

- ・ 700mm以上 $h = D_1 \times 0.6$

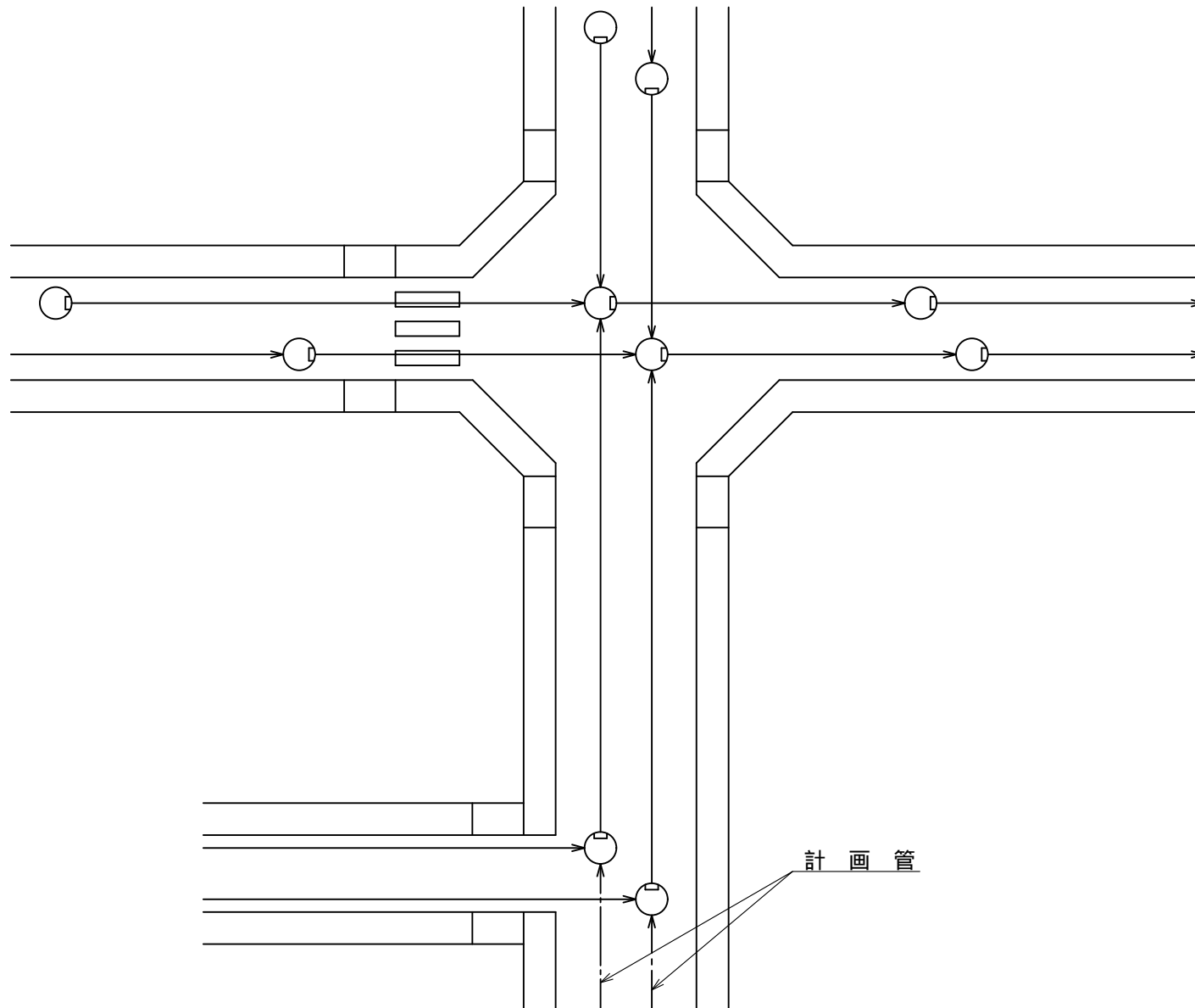
・ $D_1 > D_2 > D_3$



凡例

記号	名称
	足掛金物

・流出管径60cmを超える場合は、計画管の流入位置を考慮して設置位置を定める。



凡例

記号	名称
	足掛金物

計画管

・流出管径60cmを超える場合は、計画管の流入位置を考慮して設置位置を定める。